



進め！ドクター大竹の会

会報第5号 2015/5/20 発行

大竹知事で日本は変わる！

「山本太郎+大竹進の日本診断・青森診断」5/10 八戸市でデモクラカフェ



対談する大竹進氏と山本太郎参議院議員

5月10日（日）八戸市総合福祉会館（はちふくプラザねじょう多目的ホール）において、「山本太郎+大竹進の日本診断・青森診断」と題した講演と対談などが行われました。

大竹進氏は「福島原発事故後の健康被害や青森県の経済と原発マネーに関する報告」などを行いました。

また、山本太郎参議院議員は「現在の国会は、国民を守らず大企業を守る法律ばかり作っている」とした上で、「もしも青森県知事選で大竹進さんが勝てば、永田町がひっくり返るといふ話です」と語りました。

その後のデモクラカフェでも、山本太郎氏は「大竹進さんを当選させるには投票率を上げるしかない。大竹さん自身だけではなく、周りのボランティアの人たちの本気度が重要なカギとなる」と述べました。

会場からも複数の質問が出され、活発な意見交換が行われました。

最後に、古村一雄青森県議会議員が青森県議会や三村現青森県知事の現状について語り、幕を閉じました。

阿部衆議員（民主）、小池参議員（共産）が大きなエール

5/9「大竹すすむと医療・介護・福祉を語る会」

会場満杯

5月9日（土）青森市のリンクステーションホール青森で「大竹すすむと医療・介護・福祉を語る会」が開かれ、医師で国会議員でもある阿部知子衆議院議員と小池晃参議院議員、京都府保険医協会理事長の垣田さち子医師が出席し、講演と対談が行われました。

民主党の阿部知子議員は「後期高齢者医療制度の導入を巡って、老人切捨てに反対する運動を大竹進氏と共に闘った。大竹進さんを応援するためにここに来た」と明言しました。また、日本共産党の小池晃議員は「青森県知事選挙は、“憲法破りの戦争法案”が国会で大論戦されている最中に闘う選挙になる。負けるわけにはいかない」と語りました。

垣田さち子医師は「40歳以上の全ての人から介護保険料を天引きしておきながら、実際には介護を利用できない人がいるという矛盾」を指摘し、大竹進氏への期待を述べました。

第3部では、「進め！ドクター大竹の会」代表の品川信良弘前大学名誉教授、奈良市医師会の谷掛駿介会長、全国保険医団体連合会の住江憲勇会長、兵庫県保険医協会の加藤擁一副理事長らが激励の言葉を述べました。

会場には380人が参加し、急遽補助席が用意されるほどの満杯状態でした。



会場にいっぱいの聴衆 →

各地事務所開き開催

5/6 に青森市の事務所開きを行い、大竹さんを推薦する政党関係者や支持者 60 人ほどが集まりました。浅石紘爾選対本部長の挨拶のあと、社民党青森県連合の齊藤憲男幹事長、共産党青森県委員会の畑中孝之委員長、東京国分寺市の佐藤医師が激励の挨拶をしました。大竹進氏の決意表明のあとには、青森市勝手連代表、元青森県知事立候補者の金澤茂弁護士が閉会の言葉を述べました。

5/7 弘前、5/10 八戸、5/11 青森、5/13 下北、5/18 西北五、上十三地区と各地で事務所開きが行われました。

→ 弘前市の事務所開きで挨拶する大竹進氏



← 青森市の事務所開き後、報道陣に囲まれる大竹進氏

大竹進氏が県内各地で街宣

4 月 15 日の青森市を皮切りに、大竹進氏は県内各地で街宣を始めています。4/25 八戸市、5/3 青森市、5/4 弘前市、平川市、黒石市、5/5 板柳町、鶴田町、つがる市、五所川原市、5/6 青森市、5/10 八戸市、5/12 弘前市、5/14 下北、5/15 中弘南黒などで街宣を行いました。

県外からすでに 3 人の医師たちが応援に駆け付けて来ています。道行く人やドライバーも手を振ってくれました。

今後も、県内各地を街宣して廻ります。街で見かけたら是非手を振って応援してくださいね。

→ 青森駅前前で街宣する大竹進氏と大竹すすむの幟旗



← 五所川原市内で街宣する大竹進氏



青森県を変えよう！大竹さんと進む私たちの会（略称：「進め！ドクター大竹の会」）

<青森事務所> 住所：〒030-0802 青森市本町4丁目 4-5

電話番号：017-752-8176

FAX：017-752-8287

017-751-8641

017-751-8642

E-mail: susume.dr.otake@gmail.com

